

【校訓】
学愛磨
向友錬

【キャッチフレーズ】
こう学に燃え意欲を持ち
しゅう中して物事に挑み
くりーんアップに取り組む
小宿中

夏休みだからできること

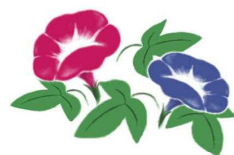
校長 前泊 勝利

いよいよ夏休みです。今年も新型コロナウイルス感染症に留意しながらの教育活動でしたが、大きな事故等もなく1学期が終了できます。

夏休みは夏季休業課題がありますが、学期中にはなかなかできないことを体験してほしいと思います。1日中、図書館（室）で本に親しむとか、外で絵を描いたり自然観察をしたりとかいろいろあります。とはいえ計画を立て、規則正しい生活をするのが大事になります。

また、夏休みは毎日家庭で過ごすこととなります。生活習慣の確立、ルールやマナーの訓化などは夏休みだからできることかもしれません。

- 基本的な生活習慣の確立を
朝6時に起きる、顔を洗う、朝食をとる、夜9時には寝るなど毎日同じことの繰り返しが確かな学力にもつながります。
- マナーや礼儀作法を
あいさつをする、お礼をするなど他の人と接するときは丁寧な対応が大事です。言い換えると他人に迷惑をかけないということになります。
- 家事手伝いを
勉強するのはよい点をとることだけが目的ではありません。将来、就きたい仕事ややりがいのある仕事をするための力をつけるために、いろんなつらさに耐えて勉強し、働くことの基礎を築いているのです。毎日、責任ある家事を分担している子は、自然に集中力も責任感もついてきます。家庭生活を支えていく上で、なくてはならない一員だという誇りも生まれます。家事手伝いは、家族の間のつながりを強め、思いやる心を育てます。人の立場のわかる子にもなっていくます。人を大切にできる態度もでてきます。
- 家庭学習習慣の確立を
学校で学習したことは、その日に復習しなければ確かな学力として身に付きにくいものです。また、家庭で学習する習慣をつけることが大切になります。子どもが自らの未来を見据え、展望をもち、意欲をもつことができるよう家庭でも話をしてください。
- 家庭のルールを
子どもは家庭での約束事やルールを守ったり破ったりしながら、社会のルールの大切さを学んでいきます。家庭でよく話し合っ一貫性のあるルールをつくり、親子で守っていく中で、子どもたちにルールがなぜ必要なのかを実感させることが大切です。
- 間違った行いはしっかりしかる
子どもは初めに家庭の中でしてよいこと、してはいけないことを学んでいきます。間違った行いには、何がいけないか理由をきちんと伝え、愛情をもって本気で叱り、逆に良い行いには心からほめる言葉をかけることが大切です。



本館他の改修工事が6月下旬から始まっており2月までの予定です。生徒の安全や工事の進捗に配慮して出校日は8月19日の1日のみとします。安全・安心には十分留意して充実した夏休みになることを願っています。

県大会に出場する男女バスケットボール部、吹奏楽部（動画審査）、剣道、空手、新体操の活躍を祈っています。

7/21～8/31は「水難事故防止運動強調期間」です